

令和2年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol.3  
 (園番号) No.726 (園名) えばたこども園

| カテゴリー           |  | 園での取り組み<br>(具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)   | 年度末達成度<br>(◎・○・△・×) | 備考   |
|-----------------|--|--|---------------------|--|
| I 子どもの育ちを保障します  | 幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します | (1) ②全体的な計画の見直し、作成を行い、職員間で共通理解する。  | (1) ×               | ・話し合いの時間を持つことができなかった   |
|                 |  | (2) ①自己評価を実施し、保育の振り返りや課題を見つける。   | (2) ○               |  |
|                 |  | (3) ①気がかりな子に対し、「子育てファイルふくいっ子」を活用し、発達状況と課題を把握して保育に活かしていく。   | (3) ○               |  |
|                 |  | (4) ④エピペンの使い方等について研修を行い、食物アレルギー児の対応について職員間で共有する。<br>⑧⑩各マニュアル（お散歩マップ、各災害時における対応など）の見直しと確認を全職員で行う。     | (4) ○               | ・アナフィラキシーの症状が現れた際に落ち着いてエピペンを打つことができた。毎年研修を行い、職員全員で対応できるようにしていく     |
|                 | 保育者等の専門性及び資質の向上を図ります   | (5) ①正規職員の研修報告（非正規職員は回覧にて）を行い理解を深め、日々の保育に活かしていく。<br>②遊びの中でどういう力が育まれていくか〈10の姿が育つプロセス〉に視点をおき、事例検討会を行う。 | (5) ○               | ・講師を招いて障がい児保育園内研修を（2回）実施<br>・今年度は事例検討ではなく、正規職員対象のみあいつこを実施し、意見交換をする |
|                 |  | (6) ③園長研修会による共通理解。   | (6) △               |  |
|                 |  | (7) ①市町アドバイザーである副園長が活動を行い、自園の保育に活かしていく。  | (7) ○               |  |
| II 子育てライフを支援します | 認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります                                  | (8) ①個人面談を実施する。<br>10の姿や学びに視点をおいた写真入り保育活動を玄関掲示したりクラス便りで発信していく。                                       | (8) ○               |  |
|                 |  | (9) ④一日保育体験を実施する。  | (9) ×               | ・コロナウイルス感染症により実施せず保護者からの要望も多かったため、来年度は対策をとりながら希望者のみ実施予定            |
|                 | 地域子育て家庭への支援の充実を図ります  | (10) ①月一回、子育て広場を行う（子育てマイスター等の講師を招いての子育て広場を含む）。   | (10) ○              |  |
|                 |  | (11) ①一時預かりの受け入れ実施。  | (11) △              | ・申し込みが少なかった  |
|                 |  | (12) 子育て広場にて、個別に育児相談に応じる。  | (12) ○              |  |
| 3 多様な連携と協働を勧めます | 子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を發揮します                          | (13) ⑥福井県特別支援教育センター、福井県こども療育センターと必要な情報提供を行い、連携して支援していく。<br>要保護児童について子ども福祉課に情報提供を行う。                  | (13) ○              |  |
|                 |  | (14) ②④地区の連絡協議会等に参加する。   | (14) ×              | ・実施されなかった  |
|                 |  | (15) ④地区の小学校運動会への参加や園に来園してもらうなど、小学生と園児の交流の機会をもつ。<br>年長児を対象に、地区の保育園、こども園との交流の機会をもつ。                   | (15) ×              | ・実施されなかった  |
|                 | 地域の教育・保育機能を強化します   | (16) ③子育て広場を行い、地域の子育て家庭の交流の場として開放する。   | (16) ○              |  |
|                 |  | (17) ②地域の人材を積極的に見つけ、活用していく。  | (17) ×              |  |
|                 | 子育てへの関心を高めます   | (18) ②園行事に地域の人を招いて交流の機会をもつ。  | (18) ×              |  |

|                              |  |  |        |                               |
|------------------------------|--|--|--------|-------------------------------|
| IV子育て文化を育みます                 |  | (19) ③ホームページを通じて園の活動を発信する。             | (19) △ | ・回数が少なかった                     |
|                              | 子育て文化につながる活動を広げます                        | (20) ②地域の子育てサークル等から申し出があった場合に場所の提供を行う。 | (20) × |                               |
|                              |  | (21) ②高齢者や大学生等のキャリアを活かした人材の活用。         | (21) × |                               |
| V安心して子どもを<br>生み育てる支援づくりを進めます | 子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます | (22) ①全体的な計画の見直しを通して、園の今後のあり方を考える。     | (22) × |                               |
|                              |  | (23) 令和7年度予定の保育研究大会の発表に向けて取り組む。        | (23) × |                               |
|                              | 社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます                 | (24) ③アクションプログラムに基づいた活動計画案作成と実施。       | (24) △ | ・コロナウイルス感染症の影響から実施できない活動があった。 |

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。